

名古屋大学高等教育研究センター 第91回招聘セミナー

生涯学習社会における 美術教育の意義と課題

藤江 充氏

愛知教育大学教育学部教授

講演要旨

昨年の東京国立博物館での『阿修羅展』入場者は1日平均15,960人で世界一であった。一方、小学校・中学校での図画工作・美術科そして音楽科の授業時間は減少し続けている。美術愛好者や音楽愛好者は増えながら、学校教育で芸術教科が重視されないのはなぜか。そうしたねじれのなかで大学の教養教育で学生が美術を学ぶことの意味は何か。生涯学習社会において美術を学ぶ意義と美術教育の課題について考えたい。

日時：2010年10月27日（水）

17時00分～19時00分

場所：名古屋大学 東山キャンパス
名古屋大学大学院文学研究科
128講義室

お問い合わせ：

西原志保（内線5814）

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

本セミナーは、FD・SDコンソーシアム名古屋の事業の一環として実施するものです。